

鉛筆デッサン

入学試験問題

鉛筆デッサン(3時間)

【問題】

与えられたモチーフ(豆絞り手ぬぐいとトレーシングボード)を手であやつりそこで起るモチーフの特徴を描きなさい。

【条件】

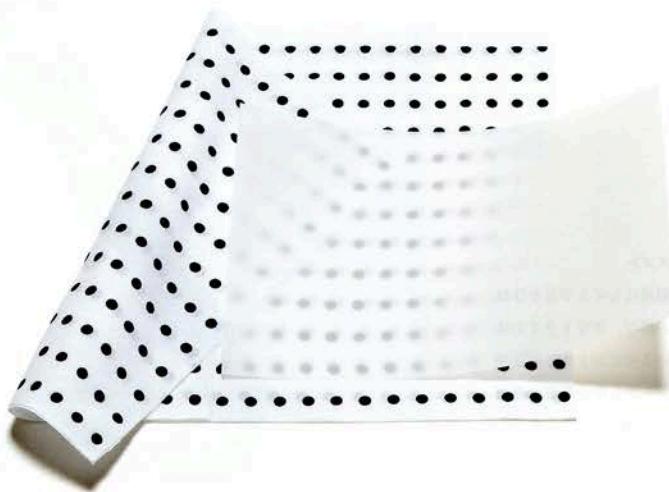
1. 豆絞り手ぬぐいと、トレーシングボードは必ず描く
2. モチーフはそれぞれ、まるめる、たたむ、など手で加工してもよい。
3. それぞれのモチーフは、切ったり切り離してはならない。
4. あやつる手は描いても描かなくてもよい。
5. 包装材はモチーフではない。
6. 答案用紙は縦横自由。
7. 目隠しカードの上に、画面の「上」を示す矢印「↑」を必ず書くこと。

【配付物】

1. 試験問題
2. 答案用紙(B3画用紙)×1枚
3. 豆絞り手ぬぐい×1枚
4. トレーシングボード×1枚

出題意図と評価のポイント

配付されたモチーフをシッカリ観察しているか、モチーフをどのように手であやつりそこで見いたした発見や面白みをどう伝えようとしたのか。ここで求められている事は、まず手の構造を理解した上で、モチーフの質感の違いと空間が描ける基本的な描写力を持っていること。さらに手の形態や表情よりも、あやつる行為の面白さや、豆絞りの手ぬぐいのやわらかさや動かして生まれるテクスチャーの変化、トレーシングボードの透明な特性と厚みや堅さを的確に表現できていることに注目した。



デザイン

入学試験問題

デザイン(3時間)

【問題】

与えられたモチーフ(電球とステンレス板)を自由に構成、観察し、その2つの関係によって生まれる光のイメージを色彩構成しなさい。

【条件】

1. 手の形は必要に応じて画面に加えてもかまわない。
2. 電球を割ってはならない。
3. ステンレス板を折り曲げることは自由だが切断してはいけない。
4. 使用する色数は自由。
5. 描画画面は与えられた紙面全体とする。ただし余白は白地とみなすので全面を塗りつぶさなくても良い。
6. 答案用紙は横位置使用。
7. 電球とステンレス板の包装材はモチーフではない。

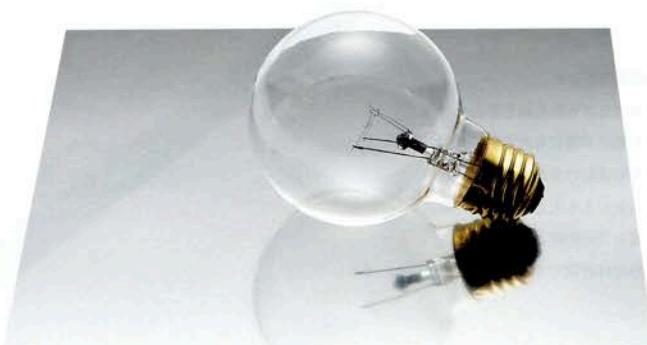
【配付物】

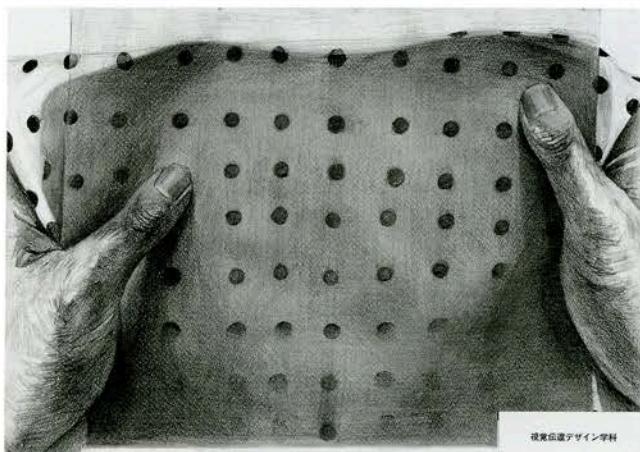
1. 試験問題
2. 答案用紙(B3ケント紙)×1枚
3. 電球×1個

出題意図と評価のポイント

この問題はモチーフが配布されています。デザインの学習においてとても基本的なことのひとつに観察、与えられた対象物をよく見るということがあります。受験された方にはまず与えられたモチーフをよく観察することを求めていました。モチーフを触り、動かすことによって、あるいは試験会場の空間からの映り込みや、異なる素材の質感から生じる様々な「光の現象」を探し、発見してもらいたいと考えました。また問題文には最終的に「光」を表現することを求めていました。「光」という言葉から概念的、観念的な表現に向かう前に、素直な現象の観察から得た自分なりの発見がまず求められ、その上でそれらの素材をどのように解釈・構成し、統合的な視覚表現に結びつけるかを見ることが今回の出題の意図です。

以上の意図に基づいて、作者がどのように対象を観察したか、それが「光」の表現として適切に表現されているか、またそれが私たちに実感を持って伝わっているかが採点のポイントとなりました。結果的に提出された作品は問題の性質上、具象的な状況描写が比較的多かった印象はありますが、抽象的な表現も含めて多様な表現がありました。採点においてはその多様性を尊重しつつ、着眼点、観察のユニークさ、空間(画面)構成のダイナミズム、リアリティ(表現力)、色彩(美しさや適切な使用)などを基準に総合的な視点から行いました。





視覚伝達デザイン学科

教員コメント

モチーフを重ねて持つということで、作者はA4の大きさのトレーシングボードと手ぬぐいの豆絞りの模様の比率に注目したのであろう。ボードの堅さと布の柔らかさが生み出す隙間が巧妙に描かれている。



視覚伝達デザイン学科

教員コメント

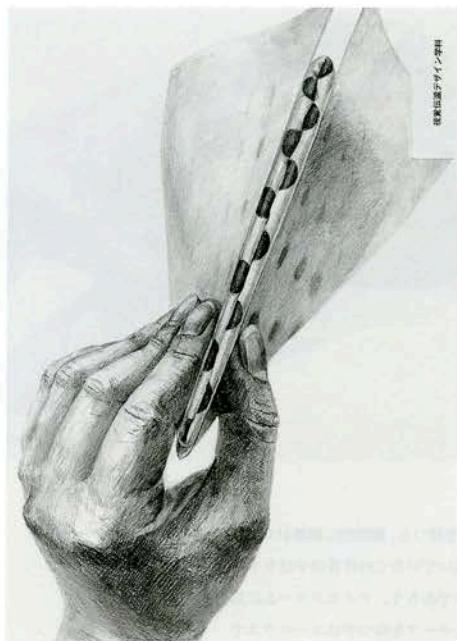
手が見えないのに手を感じるこの作品は凄い。そのアイデアだけでなく、作者は手ぬぐいの縦糸と横糸の織りなすテクスチャーと、トレーシングボードの向こう側にある手が作る空間も的確に表現している。



視覚伝達デザイン学科

教員コメント

手ぬぐいの使い方に、頭を包みあごの下で結ぶ「頬かむり」がある。丸めたトレーシングボードを手ぬぐいで包み結んだカタチを良く見ると、透けて見える豆絞りの模様が人の顔のようにも見える楽しい作品だ。



視覚伝達デザイン学科

教員コメント

モチーフをたたむ事で発見した面白さと、たたんだモチーフをつまむという手の行為の組み合わせで、空気を含む布の柔らかさとパリッとしたトレーシングボードの違いを上手く引き出している。



教員コメント

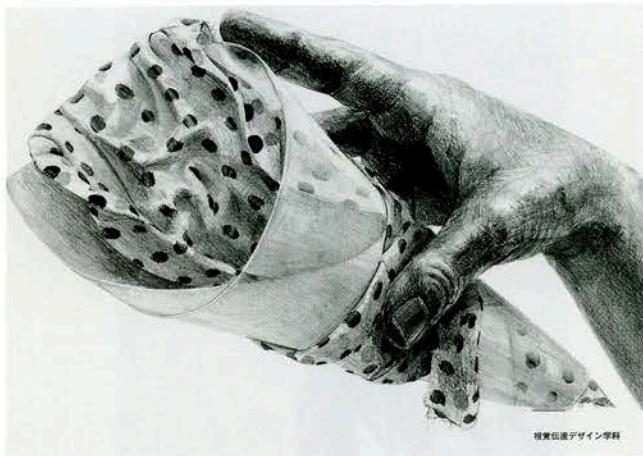
あえて手を入れず、画面の上部で手ぬぐいを押さえているのだろう。トレーシングボードをトンネルのように見せるために、豆絞りの模様の点で奥行きを表す工夫が上手い。モチーフとたわむれている作者の姿が思い起こされる。



教員コメント

両手を描くことは難しい。トレーシングボードに巻き込まれた柔らかい布を引き出すという行為を見せる事で、両手を使いながらも無理のない安定した画面を生み出している。好感の持てる作品だ。

42



教員コメント

片手でモチーフを持つと、徹底的に観察ができる。シッカリ観て描いているこの作者はやはり手を描きたかったのである。アイスクリームに見立てたようなモチーフを持つ手はユーモラスで楽しい。



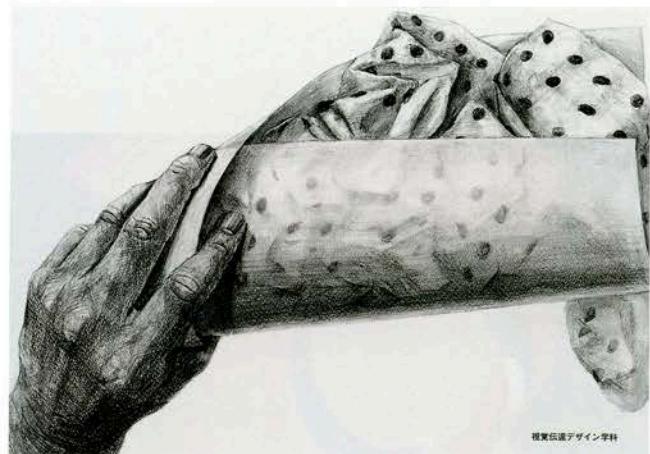
教員コメント

蝶々のように結ばれた豆絞りの手ぬぐいとトレーシングボードの間に生まれる透明感が美しい。つまんだ親指と手のひらの間の空間のボリューム感からは、作者がどこをどう見せたいのか明確に伝わって来る。



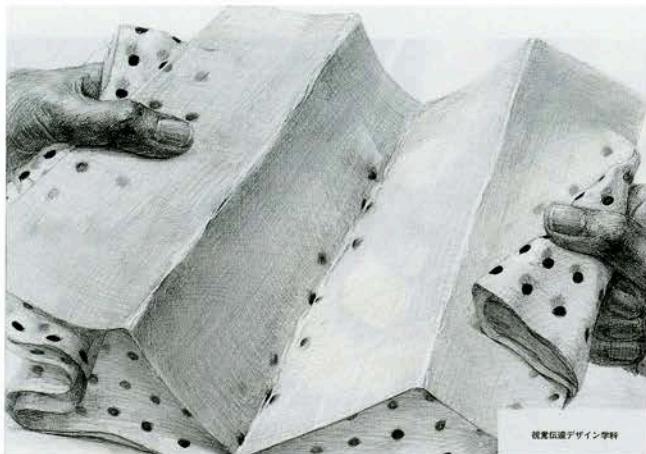
教員コメント

トレーシングボードが生み出す曲線のシャープさと対照的な布の柔らかいテクスチャーの違いに注目している。手の表現には難があるが、モチーフとの対話を楽しんだ様子が伝わってくる作品だ。



教員コメント

モチーフを持つ手よりも、丸めたトレーシングボードの堅さとその中でもつれ合っている手ぬぐいの透け方が美しい。まるで半透明な瓶の中に手ぬぐいを押し込んだように見える。作者が見せたかった状態が明確に伝わってくる。



教員コメント

紙は折ると直線が生まれる。布をたたんだときの柔らかさとは対照的だ。作者はその折り目に生まれた白いヒビと透けて見える豆絞りの点の見え方に着目した。トレーシングボードの堅さと厚みが強調されている。

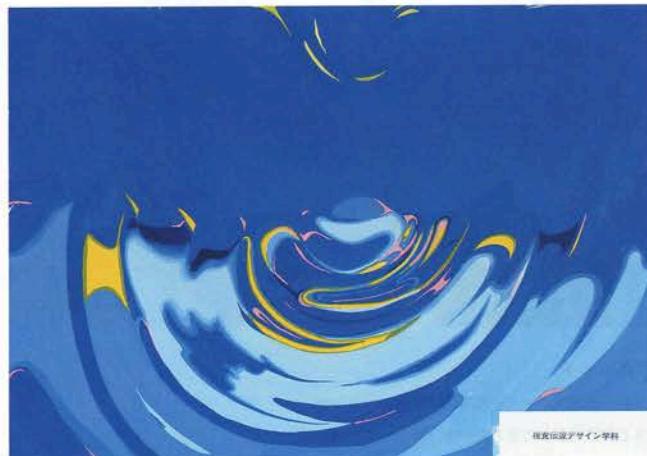


教員コメント

手の描写力はまだまだ不十分なのだが、モチーフの特性を読み取って堅いトレーシングボードで手ぬぐいを包み込みそれを折り曲げて生まれる椅子のような空間の見せ方にオリジナリティがある。



視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科

教員コメント

オレンジとブラウンの色調があたたかな電球の光と、温度をイメージさせる。さらに、金属に移り込んだ光で包み込まれるような状況をつくることで、「温」と「暖」のふたつのあたたかさの表現になった。金属モチーフを分割したリズミカルな構成が光の方向性までをも感じさせてくれる。

教員コメント

電球とステンレス板を直接的に表現せず、写し出されたフォルムのみによって両者の存在を現している。唯一上下に分けられた境界線が電球とステンレス板との位置関係を見る者に想起させるが、一切の確定要素をなくしてなお過不足なく表現している点が評価出来る。



視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科

教員コメント

構成も表現方法も直接的で一見単純に見えるが、まずはそれを補って余りある力強さがある。電球そのものを光源とせず、外的要因による光によって電球のフォルムを浮かび上がらせるという工夫も実に効果的。そしてそのコントラストの強さは、電球の材質が透明なガラスであることを明確に表現している。

教員コメント

電球が写り込んだ暗い紺色のステンレス板と、黄色と僅かな赤のグラデーションで表現した発光イメージが鮮やかな対称をなし、面白い効果を生んでいる。シンプルな色使いながら、明暗の対比効果がうまく活かされた作品となった。



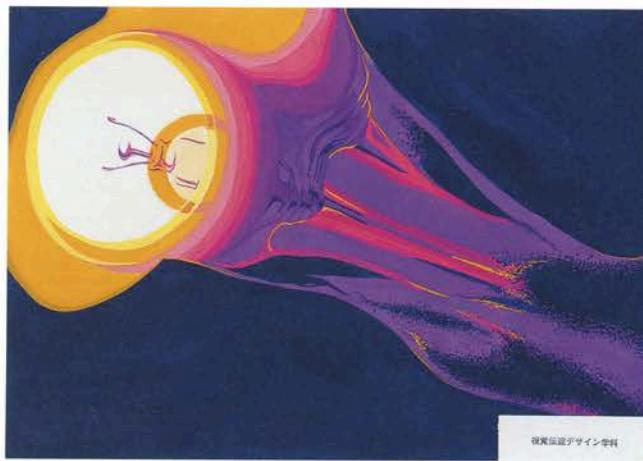
教員コメント

金属板の反射光と電球に映り込む反射光と教室天井の蛍光灯、これら3種類の光を丁寧に観察している。その結果、光のアウトラインの構成によってモチーフの立体感や透明感、素材の硬質感などをうまく表現することができた。電球の中の光を暖色にしてモチーフの機能も素直に示している。



教員コメント

蛇腹に折られたステンレス板に映り込んだ電球の光沢が、大きくうねるようなフォルムを成し、力動感あふれるユニークな画面を構成している。全体に低彩度の落ち着いた色使いの中で、口金の黄色も活きている。



教員コメント

光がまぼゆく輝き到達する様が、揺らぐ電球の光跡で見事に表現されている。オレンジから赤そして紫の配色が逞しく現されており、時間の経過も表現できており素晴らしい作品である。



教員コメント

モチーフの観察が優れている。光の直進性が強調され、ブルーを基調として空間を表現しており、微妙でわずかな暖色系の光の象徴がポイントとして配色されている理性的な秀作である。



教員コメント

暖色系の色を巧みに使い、暗い中の電球の存在感がよく表現されている。また、曲線を多用することでステンレスの曲面に映り込んでいるということと、暖かい揺らめくような光だということがうまく表されている。



教員コメント

中央の細かく分割された色面が、電球の丸みと光沢を表し、ステンレス板に写り込んだ形も、上から差し込む青い光として処理されている。観察から得られたフォルムを元に構成し、創造的な光の表現となった。



教員コメント

モチーフから光をイメージして描いているが、ガラスとアルミの質感まで表現しており、その力量の高さがうかがわれる。無駄な描写がなく十分に計算された構図と色彩、空間を描いている力作である。



教員コメント

大海原や山岳風景に月の光がひとすじ。そんなイメージを連想させる大胆な構成である。モチーフの電球のソケット部分と力を加えて折り曲げた金属部分の硬質な光の色調が、冷たく美しい。暗闇の中にこれを配することで、人工的な光と自然の光を対峙させ、光の意味を暗示する効果を生みだしている。